

多肥保育所では、平面作品制作を中心に活動しています。登園してすぐの1時間(9:00~10:00)は、天気の良いと、学年合同で外遊びをしているので、その一角に、芸術士によるお絵描きブースをつくり、自由参加型で作品制作をしています。毎回違う色のロール紙を広げ、テーマを決めてから取りかかります。水色だと「空・海」、紺色だと「夜」など。使う画材はクレヨン・絵の具を中心とし、筆は細いものから太いもの、ハケなどを用意します。道具を使うだけでなく、手足を使っておもしろい表現をする場面も多くみられます。一つの画面に、繊細に描かれた部分、ダイナミックに描かれた部分が混ざり合っ、毎回とても魅力的な作品が出来上がります。体全体を使って楽しんでいるな、と伝わってくる作品たちです。また、個人での絵画制作にも力を入れています。大人1人につきこども3人程の少人数を見ながら、じっくりじっくり時間をかけて取り組んでいます。大事にしていることは、道具の使い方を丁寧に教えること、もうひとつは、子供の思いを十分にくみ取りながら制作を進めることです。筆を使った絵の具の混色も進んで挑戦してもらいます。最初は思うように出来ず、濁って汚い色になってしまうことも少なくなかったのですが、回を重ねる毎に、自分のものになっている感じが伝わってきて、最近では自分のオリジナルのきれいな色を作り、それを使って制作する喜びを見出せている様子です。



絵画個人制作

多肥保育所では、個人の絵画制作に力を入れています。梅皿・筆・筆洗器をひとりづつに用意し、ひとりひとり時間をかけて、道具の使い方など、丁寧に説明しながら取り組むようにしています。担任の先生と協力しながら、大人1人につき子供は3人程を見て、できるだけ本人の気が済むまで時間をとってあげるようにしています。(30~40分)「灰色ってどうやってつくるの?」「これとこれ混ぜたらどんな色になるかな」制作するなかで出てくる小さな疑問や興味にも少人数を相手にすることで十分に対応できます。何回かやるうちに、道具の使い方も体で覚えていきます。最初は濁ってしまうばかりだった混色も、なんとなくコツをつかんだ様子で、自分だけのきれいな色をつくり、それを使って作品を彩っていきます。子どももまだまだ絵の具というものに興味津々なので、制作だけでなく、片付けも楽しんでいます。使って余った絵の具たちが水に流れながらまた混ざっていくのが面白くてたまらない様子です。子供たちに片付けを頼むと、いつもピッカピカになって戻ってきます。



テーマ「夜」

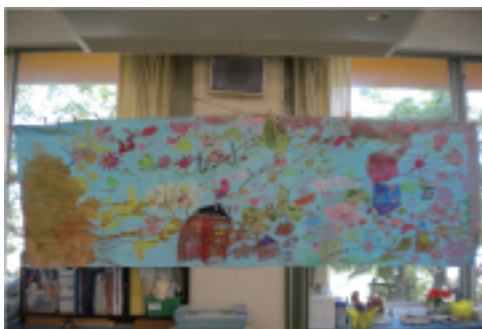


テーマ「夏」



つなげてお絵描き

自由時間に集まった子たちとクレヨンでお絵描き。1枚の画用紙を何人かで取り囲んで、みんなで描きだしました。あつという間に描くところが無くなったので、画用紙を追加。同じ様な絵(草原や花・女の子・家など)を描いていたので、「つなげてみたら?」と提案。長い大きな絵ができました。その後、少し目を離しているといつの間にかどどん絵をつなげていました。お友達と絵をつなげて一緒に完成させる喜びをみつけたようでした。



テーマ「海・空」



ボディペイント

本日はボディペイント。片栗粉に食紅を混ぜて、7色用意しました。絵の具とは違う、変わった感触にテンションが上がります。やわらかいグミのような感じです。白い紙にこすりつけたり、自分の体や友達の体につけたり、いろんな色が混ざり合っとてもきれいです。暑い夏に、外でひんやりとした絵の具で体いっぱい遊んで、とても気持ち良さそう。小さな手の上でキラキラと輝く様子は宝石のようでした。



共同制作

指でお絵描き